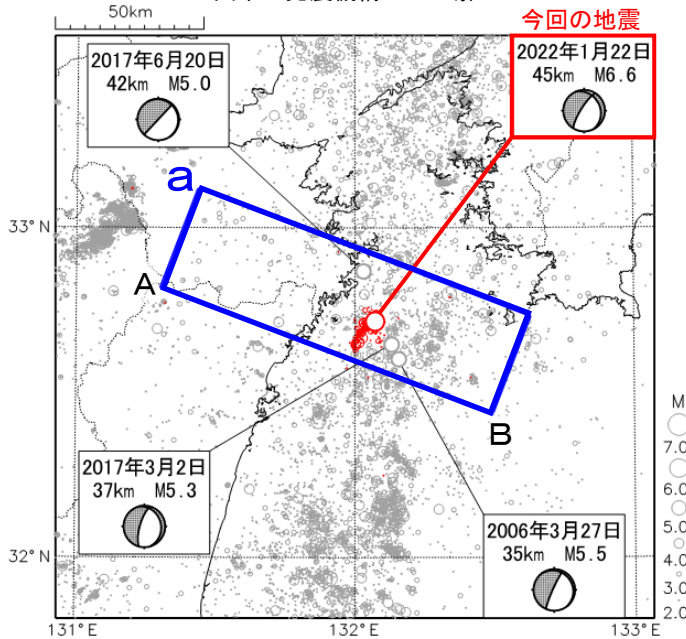
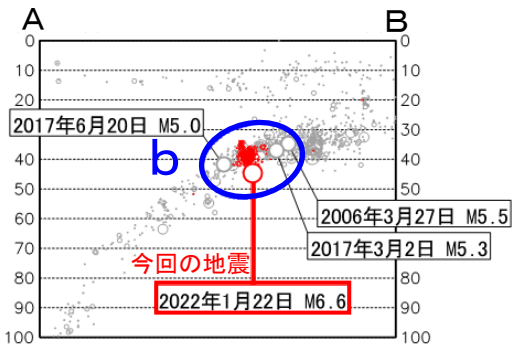


## 1月22日 日向灘の地震

震央分布図  
(1994年10月1日～2022年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
2022年1月の地震を赤色○で表示  
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)

震度1以上の日別最大震度別地震回数表  
(2022年1月22日～1月31日)

| 日   | 最大震度別回数 |   |   |   |    |    | 震度1以上を<br>観測した回数 |    |
|-----|---------|---|---|---|----|----|------------------|----|
|     | 1       | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 回数               | 累計 |
| 22日 | 22      | 6 | 5 | 0 | 0  | 1  | 34               | 34 |
| 23日 | 3       | 1 | 0 | 0 | 0  | 0  | 4                | 38 |
| 24日 | 1       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1                | 39 |
| 25日 | 0       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 0                | 39 |
| 26日 | 1       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1                | 40 |
| 27日 | 1       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1                | 41 |
| 28日 | 0       | 1 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1                | 42 |
| 29日 | 0       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 0                | 42 |
| 30日 | 0       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 0                | 42 |
| 31日 | 0       | 0 | 0 | 0 | 0  | 0  | 0                | 42 |
| 総計  | 28      | 8 | 5 | 0 | 0  | 1  |                  | 42 |

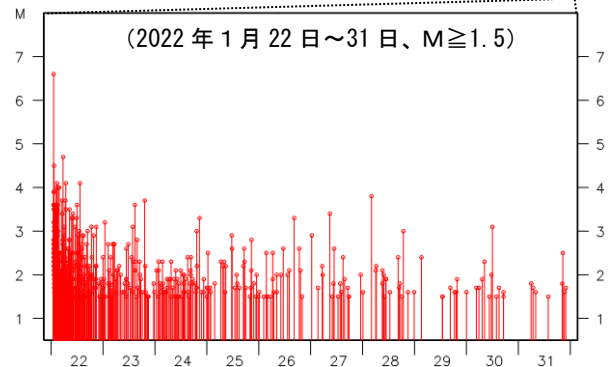
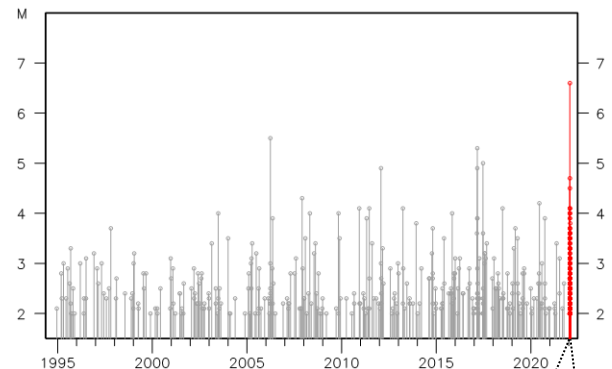
2022年1月22日01時08分に日向灘の深さ45kmで $M 6.6$ の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に張力軸を持つ型である。この地震の発生直後、地震活動が一時的に活発となったが、地震回数は減少してきている。なお、1月31日までに震度1以上を観測した地震が42回 (震度5強: 1回、震度3: 5回、震度2: 8回、震度1: 28回) 発生した。

今回の地震により、負傷者13人、住家一部破損1棟などの被害を生じた (1月31日現在、総務省消防庁による)。

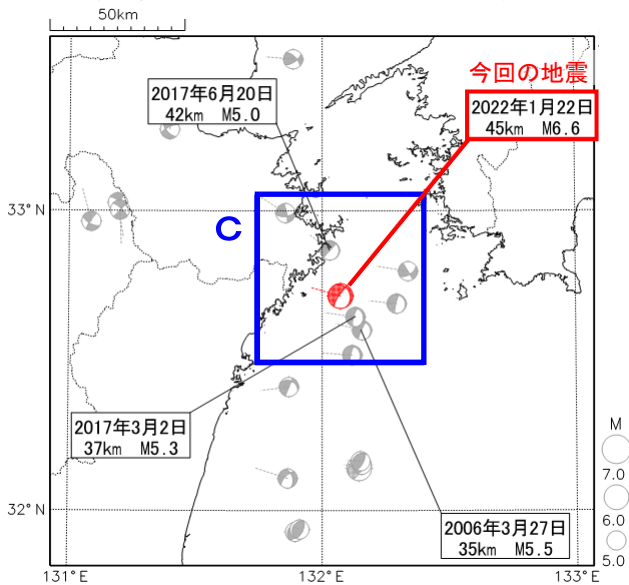
気象庁は「気象庁防災対応支援チーム (JETT)」を大分県庁に派遣し、地震活動・気象状況の解説を行うなどの支援を行った。また、1月22日に「気象庁機動調査班 (JMA-MOT)」を派遣し、震度5強を観測もしくは推計した震度観測点 (9地点) について点検を実施し、観測環境が地震によって変化していないことを確認するとともに、周辺の被害や揺れの状況について確認した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では $M 5.0$ 以上の地震が3回発生している。このうち、最大規模の地震は2006年3月27日に発生した $M 5.5$ の地震 (最大震度5弱) である。また、2017年6月20日には $M 5.0$ の地震 (最大震度5強) が発生している。

領域b内のM-T図

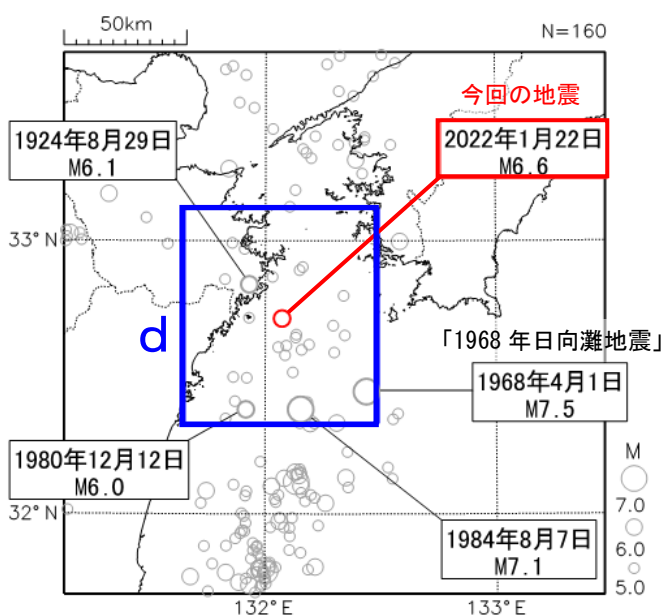


発震機構分布図  
(1994年10月1日～2022年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
2022年1月の地震を赤色で表示  
発震機構解はCMT解、張力軸の方向を点線で表示



今回の地震付近（領域c）で求められた発震機構解（CMT解）をみると、概ね西北西－東南東方向に張力軸を持つ型が多い。

震央分布図  
(1919年1月1日～2022年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
2022年1月の地震を赤色○で表示  
領域d内のM6.0以上の地震に吹き出しを付けた



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）ではM6.0以上の地震が4回発生している。1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害を生じた（「日本被害地震総覧」による）。この地震により、大分県の蒲江で240cm（最大全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。また、1984年8月7日に発生したM7.1の地震（最大震度4）では、負傷者9人などの被害を生じた（「日本被害地震総覧」による）。この地震により、宮崎県の延岡で28cm（最大全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

領域d内のM-T図

